

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- 保護者・地域住民の方々が学校づくりに主体的に参画できる協議会を設置し、意見交流や相互理解を通じて地域コミュニティづくりの推進に努める。
- 保護者や地域の方々との共同連携による学習支援や児童安全見守り等活動を継続・発展させ、学校・家庭・地域が一体となった児童育成をより一層推進する。
- 継続してきた学校評価をより実効性のあるものへと高め、保護者や地域の方々の願いが反映できる教育活動を創造する。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 年間での取組

#### <あいさつ運動や下校時の見守り活動>

本地域は、あいさつ運動をPTAと連合自治会や老人会等の地域が連携して行っている。また、下校時刻を放送で知らせたり、通学路に立ったりして、子どもたちの下校を見守ってくれている。



#### <クリーン作戦>

5月と9月の土曜日を活用した教育活動の時間を使って、PTAと地域自治会が協働し、学校美化活動を実施した。草抜き、落葉拾い、枝払い等学校環境整備に数多くの方の力を得て、校内がとてもきれいになった。



#### <高花っこ学習発表会>

地区の文化祭では、各学年が、音読劇や合唱・合奏等、これまでに学んできた成果を地域の方々に発表することができた。また、絵画や生け花等地域の人たちの文化作品を鑑賞することができた。



#### <ふれあい運動会>

本校では運動会のプログラムに、児童とふれあ



う機会をつくることを目的に、ふれあい種目を設けている。保護者や地域の人たちが、綱引きや玉入れ等の種目に積極的に参加をしていただいた。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

- 第3回の学校運営協議会で、地域から新聞記事等の資料を提供しながら、「ゲーム依存症が精神や行動の障害になり、欠席等につながっているという報告がある。」「いじめ調査が新聞で報告されてあるが、ネットやスマホに関するいじめの割合が増えている。」等の提案があった。本校においても、動画配信によるトラブルもあるので、今後も情報モラルを身に付けさせていく必要性を共通認識できる場となった。



- 通学路に倒壊寸前の家屋があるため、危険回避のため通学路を変更した。該当家屋の対応については、地域との連携をし、一日でも早い対応を依頼している。PTAについては、朝のあいさつ当番を変更した地点での見守り活動に新たに編成し直した。地域も、横断歩道を安全に渡せるようにしたりし、児童の安全確保に努めている。



- 児童の学校生活様子を参観できるように学校運営協議会を昼の時間を設定した。子どもたちが学んでいる様子等を見ていただくことにより、「子どもたちが、集中している。」「ともだちとかかわり合いの中で問題に取り組んでいる。」等、その後の意見交換も充実したものとなった。

3 今後に向けて

- 本地域は、教育に関して、関心が高く、協力的なところが強みである。あいさつ運動、登下校の安全、学校の環境整備等、あらゆるところで協力をいただいている。さらに、学校生活以外で気になる児童について、新しく、具体的な情報提供もある。結果、児童の安全を確保する事例も出てきている。今後も、学校ビジョン実現にむけて、課題を共有して、学校、PTA、地域の連携をさらに強化していきたい。そのためにも、話し合いの機会を設けたり、子どもたちの学びや活動の様子を参観できるよう学校を開放したりしていきたい。

## 別紙B

## 平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立高花平小学校

委員長 澤山 至宏

校長 森田 一哉

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	第一回学校運営協議会 (19:00～)	委嘱状手交、学校づくりビジョン承認、 学校教育年間活動計画について、意見交換
5		
6	第二回学校運営協議会 (13:15 ～)	学校生活の様子 (授業参観)
7		
8		
9		
10	第三回学校運営協議会 (9:10～)	学校生活の様子 (リハーサル集会)
11		
12		
1		
2	第四回学校運営協議会 (13:15 ～)	学校生活の様子・学校関係者評価の実施・来年度の学 校づくりビジョンと主な行事予定
3		